

2008 年度事業計画

1.方針

(1) 加盟団体のニーズを踏まえた事業立案

ネットワークの再構築(2006年度)において加盟団体に確認したニーズを踏まえた事業を立案し、実施する。特に下記2点に優先的に取り組む。

- 1) 事業をより効果的に展開するために、中長期的な方針を持って活動に取り組む。
- 2) 関西の NGO 全体の活動を強化することで、社会に対して地域の NGO が積極的に発信していく基盤をつくる。

<具体的な内容>

- 加盟団体の意見・ニーズを踏まえた中期方針(3年間)を策定する
- スキルアップの為に学習会を開催する(ネットワークミーティング、アカウンタビリティセミナーなど)

(2) 組織基盤の強化

受託事業に過度に依存せず職員の労働環境整備を進める為に、自主財源の確保に取り組む。

2.各事業の内容

(0) 組織基盤強化・ファンドレイズ

中期計画の策定

2009~2011年の活動の方向性を定め、活動計画を作成する。加盟団体の意見・ニーズを反映させるため、総会やネットワークミーティングの場で議論をおこなう。

期間(予定): 2008年5月~12月

新規会員開拓

昨年度に引き続き、ネットワークミーティングや当会が主催する各種イベント・セミナーに参加いただいた団体などを中心に、新規会員の募集を積極的におこなう。同時に、賛助会員制度の立ち上げを検討する。

ODA 政策への提言活動サポート寄附

政策提言活動を継続的、安定的に実施するため、政策提言活動に用途を限定した寄附を募る。

(1) ネットワーク活動

ネットワークミーティング(例会・拡大学習会)

加盟団体が定期的に集まり、情報・意見交換や経験共有をおこなう場として実施している。2008年度は、中期計画作成に向けて加盟団体のニーズを聞く機会として利用する。その他の回は、NGOのキャパシティ・ビルディング向上につながるテーマ設定を心がける。

アカウンタビリティセミナー

2006年度大阪・2007年度京都でそれぞれ1回ずつ開催してきたセミナーの3年目として、兵庫での開催(7月~9月頃)を予定している。今年度は「支援増加につながる広報・PR」という観点から、アカウンタビリティの表出・成果の表現を軸にしたセミナー内容とする。

セーフ・トラベル・セミナー

2009年3月末に第3回を開催予定。感染症の体験事例をセミナーや経験交流会において発表して、経験・情報共有を充実させることで、スタディツアーにおける危機管理対策への対応力の向上を目指している。感染症以外のテーマでのセミナー開催に関しても検討する。

その他

加盟団体への情報提供など

(2) 政策提言活動

NGO-外務省定期協議会

NGO-JICA 協議会の再編に伴い、外務省との定期協議会も枠組みの見直しを迫られることになると想定される。委員、コーディネーター、事務局を担ってきた関係団体と合同で、これまでの成果と課題をふりかえる機会を設ける予定である。

【連携推進委員会】

委員：(財)PHD 協会

藤野 達也

【ODA 政策協議会】

コーディネーター：(特活)関西 NGO 協議会個人会員・提言専門委員

加藤 良太

事務局：

田中 十紀恵

【全体会】

コーディネーター：個人会員

加藤 良太

事務局：

瀬良 香織

NGO-JICA 協議会

10月に新 JICA となる(JBIC の円借款部門・外務省の無償協力部門との統合)のを契機に、現在の枠組みを基本としつつ、さらに参加者や議題提案者を幅広く設定した協議会としてリニューアルする予定である。ODA の実施を担う巨大組織となる JICA のアカウンタビリティを検証し、また各種の課題を NGO と JICA とが共に検討する場として、さらに透明性の高い運営を心がけ、多くの参加者による議論がなされるよう留意していく。

尚、連携事業検討会と評価小委員会は9月までで終了し、10月以降は必要性に応じてテーマ別の小委員会を設ける予定である。

委員：(財)PHD 協会

藤野 達也

委員・事務局：

宮下 和佳

【連携事業検討会】(～9月)

委員：(社)日本国際民間協力会

折居 徳正

【評価小委員会】(～9月)

委員：(特活)関西 NGO 協議会個人会員・提言専門委員

中田 豊一

(3) 啓発および人材育成(及び NGO への参加促進)活動

第22期関西 NGO 大学

期間：2008年9月～2009年2月

講師紹介

昨年度までに引き続き、大阪薫英女子短期大学(前期)、龍谷大学(後期)、京都光華女子大学(集中講義)、帝塚山学院大学(集中講義)への講師紹介をおこなう。

新たに、関西学院大学神学部(前期、後期)への講師紹介をおこなう。

榛木 恵子：大阪府総合計画審議会委員、外務省独立行政法人評価委員会 国際協力機構分科会委員、国際交流促進事業助成審査委員

NGO-JICA 連携による実践的参加型地域開発コース

JICA によるニーズ調査の結果、多数の国(14ヶ国)より参加希望があった為、研修コース開催を年1回から2回に増加させる事となった。2回の研修の内1回は当会が、もう1回は加盟 NGO である(特活)アジアボランティアセンターが JICA 大阪との協働により研修を企画・運営していく。約6週間の研修を5～6のモジュールに分けて、地域開発プロジェクトに携わる上で重要な視点やスキルを互いに学び合う研修である。途上国の現地 NGO スタッフを対象としているが、「国内参加者」として国内の NGO/NPO スタッフの参加枠を設けている。

時期 2008年8月20日～10月1日

研修員 下記6ヶ国で地域開発に関する活動をおこなっている現地 NGO スタッフ

研修員割り当て国 インド、東ティモール、ニジェール、アルゼンチン、エクアドル、パプアニューギニア

ファシリテーター (特活)関西 NGO 協議会個人会員 中田 豊一

事務局担当者 宮下 和佳

「変えよう ニッポンの国際協力～ODA への政策提言入門講座」

ODA 政策への市民参加を広げていく基盤づくりとして、ODA に関する入門セミナーを開催し、政策提言の担い手育成をおこなう。2008年はG8サミットの開催、JICA と JBIC の統合などを控えており、参加者に

はセミナー終了後、G8 や ODA に関連する学習会に参加したり、企画したりする事を促す。また、関西地域の NGO/NPO スタッフが、ODA に関する基礎的な知識や ODA 政策・プロジェクトを見る時の視点を学び、既存の活動との関連性を考える機会ともする。

各回の概要：

- 第 1 回 5 月 17 日（土） そもそも ODA って？
- 第 2 回 5 月 31 日（土） わたしたちと ODA
- 第 3 回 6 月 6 日（金） ケーススタディ@東南アジア
- 第 4 回 6 月 14 日（土） ケーススタディ@南アジア
- 第 5 回 6 月 20 日（金） ケーススタディ@アフリカ

場所：興正会館（京都市）

共催：ADB 京都総会 NGO ネットワーク
アユス仏教国際協力ネットワーク関西

相談受付

外務省の NGO 活動環境整備支援事業「平成 20 年度 NGO 相談員」を受託した。NGO の国際協力活動、NGO の設立、組織の管理・運営といった、NGO に関する市民や NGO 関係者からの質問・照会に対応する。また、国際協力関係のイベントやセミナー等に参加して相談業務や講演を行う「出張相談サービス」もおこなう。

時期：2008 年 5 月 1 日～2009 年 3 月 31 日

事務局担当者：榛木 恵子
瀬良 香織

DVD「私たちの暮らしと世界のつながり」の頒布

昨年度、松下電器産業株式会社との協働で作成した DVD は、グローバリゼーションが引き起こす問題と日本に住む私たちとの関係をわかりやすく解説したものとして好評であった。松下電器産業にご寄贈いただいた 900 枚ほぼ全てを頒布したため、増刷のうえ、より幅広い方々に頒布する。

その他

ウェブサイトでの情報発信など

3. その他

助成金

今後申請を予定 / 検討している助成金・委託事業は以下のとおり。

- ・(特活) チャリティ・プラットフォーム NPO 支援事業
- ・(財) 日本国際協力システム (JICS) NGO 支援事業
- ・(財) 庭野平和財団 公募助成
- ・大阪市生涯学習ネットワーク事業
- ・大阪市 NPO 公募提案型委託事業